

令和3年度 第2回学校運営協議会議事録

日 時：令和3年10月21日（木） 14：15～15：15 校内見学

15：30～17：00 協議会

場 所：大阪府立中央聴覚支援学校 高等部4階会議室

参加者：井坂 行男（大阪教育大学教育学部総合教育系特別支援教育部門 教授）

前田 浩（大阪ろう難聴就労支援センター 理事長）

森田 雅子（大阪市教育委員会特別支援教育専門家チーム アドバイザー）

良原 恵子（大阪府臨床心理士会 副会長）

廣田 めぐみ（本校 PTA 会長）

1 開会

2 学校長挨拶

3 校内見学の感想

4 議事

①令和3年度 学校経営計画及び学校評価（中間報告）について 赤木校長より説明

<委員からの意見・質問及び回答>

○学ぶ力の育成とキャリア教育に関して

- ・手話やICT活用も大切だが、基礎学力をどのようにしてつけるのか、を意識して取り組んでほしい。
- ・就労支援の立場では、近年の雇用状況から、他の障がいをもつ人や多様な人々とのかかわり方を学んでおく必要があると感じる。聴覚障がいの人は大きな声や身振りで表現することがあるが、そういうことが苦手な人もいる。
- ・キャリア教育について各部の様子をききたい。

→幼稚部：あいさつ、順番を守るなど初めての社会生活の中で身近なルールを覚えていく。

朝ごはんや登校の準備などの生活習慣は保護者と一緒に取り組んでいる。

小学部：係や委員会などの仕事を担当したり児童会のリーダーになったりして責任をもつ経験を積み重ねる。自分のきこえ方の特徴を知ったり、苦手だけれどもがんばりたいことなどを自覚させたい。自己肯定感を高め、自信をもって中学部へ進ませたい。

中学部：SDGsや多様性についての学習を積み重ねている。また、途上国へ絵本を送る活動をしており、支援を受ける側という立場ではなくボランティア活動を通し

て自分たちもできることがあるという意識を育てている。

高等部：自分がつく仕事について、保護者と相談はするが基本的には生徒自身に考えさせる。「自分で決める」ということを大切にしている。

・障がい認識について

→高等部：自立活動の授業の中で自分のきこえについての説明や必要な配慮を伝える練習をしている。

中学部：自分の気持ちを伝えることの大切さを自立活動の授業などで行っている。3年生は職場体験も行って進路を決めていく。わからないことを自分からきくことや、要求だけでなくその方法についても自分で整理し、理解できるように、卒業前に自己紹介ノートを作成している。

小学部：わからないことを「わかりません」と言える力、困っていることを自分で伝えられる勇気が社会では必要。

幼稚部：子どもたちは、どんな時に困るのか何がわからないのかが、まだわかっていない。家庭での会話には困らない場合でも、地域校の環境ではきこえにくい状況が起きる。それを保護者にも想像してもらえるように働きかけている。

5 事務局より連絡

6 閉会